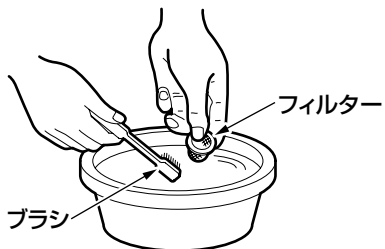
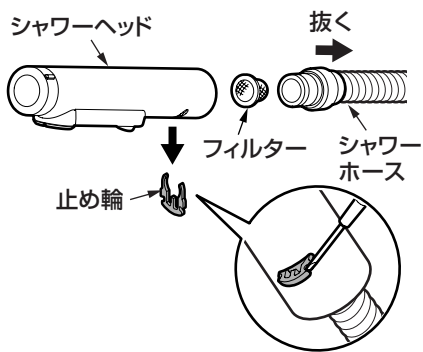
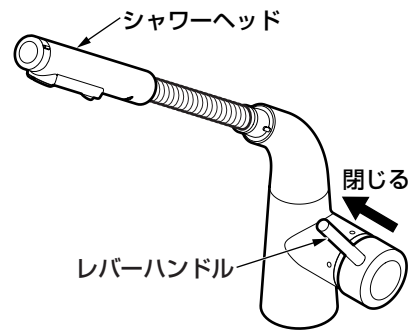


# 日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

## フィルターのお手入れ



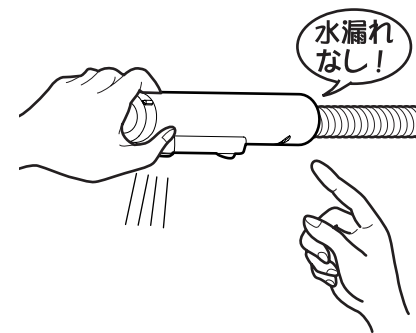
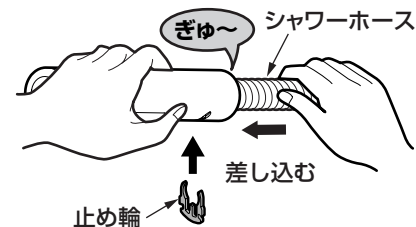
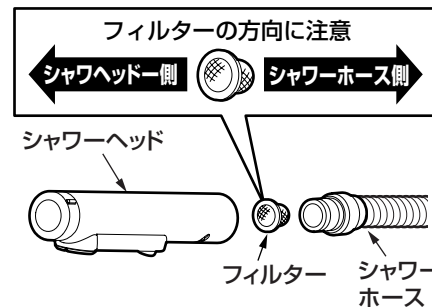
1. レバーハンドルを閉じる。
2. シャワーヘッドを引き出す。
3. 精密ドライバーまたは先端の細いマイナスドライバーなどで止め輪を取り外す。

めっき表面を傷つけないように注意してください。

4. シャワーホースを抜き、シャワーホース先端に入ったフィルターを取り外す。

フィルターを落としてなくさないように注意してください。

5. フィルターに詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。



6. フィルターをシャワーホース先端に取り付け、シャワーホースをシャワーヘッドの奥に当たるまで差し込む。

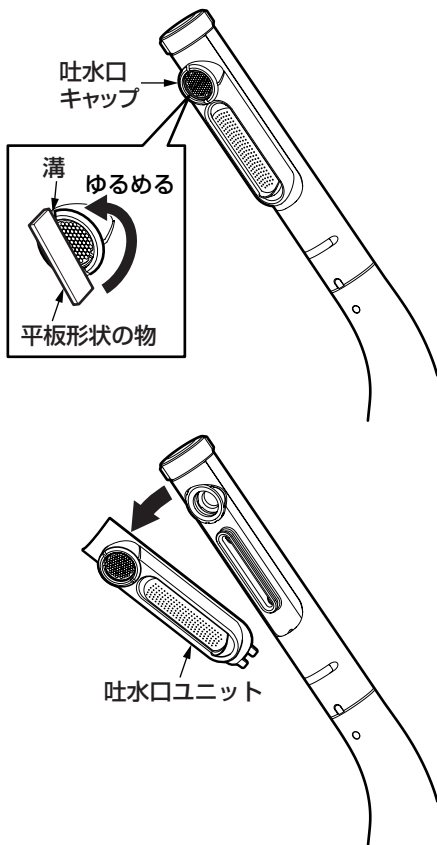
フィルターの向きに注意してください。

7. 止め輪を元の場所に差し込む。

シャワーホースが十分に差し込まれていないと止め輪が取り付けません。

8. シャワーヘッドを引き出した状態で水を出し、ホース接続部からの水漏れがないことを確認する。

## 吐水口・散水板のお手入れ



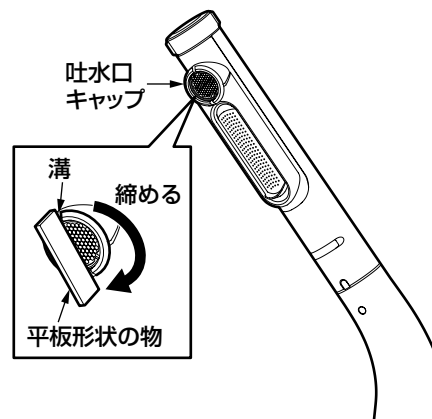
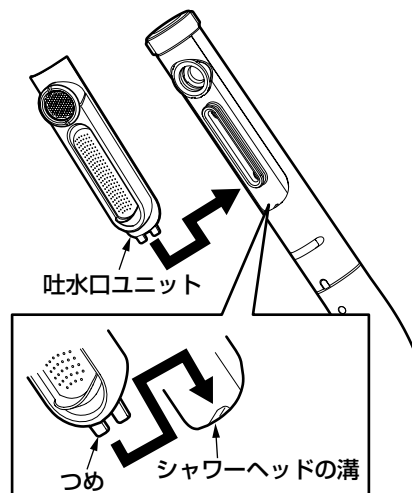
1. 平板形状の物を吐水口キャップの溝に差し込み、回して空回りするまでゆるめる。

散水板を傷つけないように注意してください。

2. 吐水口ユニットを取り外す。

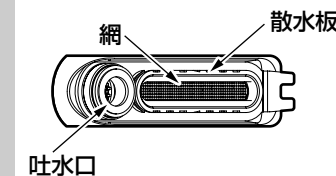
※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

※パッキンを傷つけないように注意してください。



3. 吐水口、散水板に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。

※散水板の中の網は外さないでください。



※吐水口ユニットを交換する場合は、P.24を参照のうえご購入ください。

4. 吐水口ユニットのつめをシャワーヘッドの溝に挿入してしっかり押し込む。

5. 平板形状の物を吐水口キャップの溝に差し込み、しっかりと締め込む。

散水板を傷つけないように注意してください。  
締め込みがゆるいと水漏れの原因となります。

# 定期的な点検

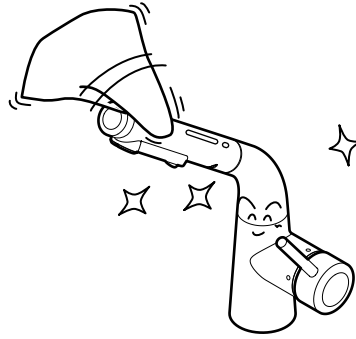
## 布などを使用したお手入れ

### ●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

### ●ひどい汚れの場合

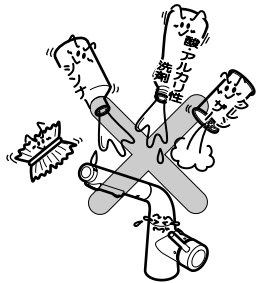
適量に薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。



## お願い

### ●水栓が破損するおそれがあるものは使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤  
水栓の表面が変色したり、樹脂部品が破損するおそれがあります。
- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤  
ゴムや樹脂部品が破損するおそれがあります。
- ・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ・ナイロンたわし、たわし、ブラシなど  
水栓の表面が傷つきます。



### ●洗剤を使用した場合は、確実に水洗いしてください。

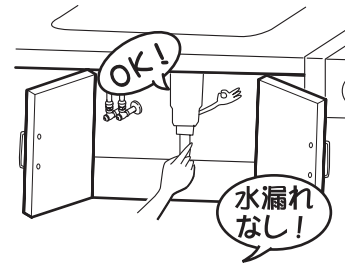
安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

## 配管まわりの水漏れ (年2回)

配管まわりの水漏れがないか確認する。

劣化・摩耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め(P.20参照)、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。



## 本体部のガタツキ (年2回)

本体部のガタツキを確認する。

本体部にガタツキがあるままお使いになると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。



## スパウトの操作性 (月1回)

ときどきスパウトを回す。

スパウトを長期間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

